

平成28年度第2回湯梨浜町地域包括支援センター運営協議会 議事録

日 時 平成29年3月8日（水）13：30～14：30

場 所 湯梨浜町役場 第3会議室

出席者 徳田会長、塩委員、山田委員、宮本委員、増田委員、
坂口委員、清水委員、濱口委員、中本委員

事務局 竹本所長、宮本補佐、森主幹、大田、佐々木、米原、戸崎

1 開 会

2 あいさつ

会 長 ニューフェイスの方もおられるので自己紹介をお願いします。

委 員 前任の賀須井委員より引き継ぎまして今回からよろしくお願いします。
民生委員をしております、任期は3期目となります。

会 長 今年度は地震や大雪やいろいろなことがあった年でした。水害も来たら大変なことになるなと思っているところです。それでは協議の方に移ります。

3 協議事項

（1）平成28年度事業報告について

（資料に基づき事務局から説明）

委 員 短期集中型サロンの評価として若返りと記されているが、参加人数についてはどうか。

事務局 はわい温泉地区では12人前後、門田地区20人前後、東田後地区10人未満の参加者がいる。

委 員 開催回数が12回あるが、毎回同じ人が参加しているということか。

事務局 途中参加も可能であるが、基本的には同じ人が参加し、その前後の体力測定の評価をしている。楽しんで参加していただいている。現在は包括職員とゆりりんメイトが協働して行っているが、今後はゆりりんメイトが支援し、その地区での自主運営につなげていきたいと考えている。

委 員 良い効果がでているようなので、ぜひ他の地域でもお願いしたい。

事務局 体力年齢は鳥取大学准教授の加藤先生が考案した数式を用いて算出している。現在は3地区での実施に留まっているが、他地域にも広げていくようにしていきたい。

委 員 1回あたりの開催時間はどれくらいか。

事務局 1回につき1時間程度の開催としている。最初は包括の保健師が主で関わり、ゆりりんメイトの活用や地区サロンの自主運営を支援していく形を目指している。

委 員 70歳以上の運転免許証返納者への支援とはどんなものがあるか。

事務局 まだ、議会で予算が可決していない段階なので案と言う形でしかお伝えできない

いが、500 円のタクシーチケットをひと月 2 枚で 1 年間助成していく予定。わず
かではあるが、認知症の心配のある高齢者の運転免許証の自主返納を促せれば
と考える。

委 員 自主返納の定義とはなにか。更新しに行ってできなかった場合はどうなるのか。
事務局 免許証の有効期間内に返納した方になる。また、このタクシーチケットの助成
が免許証を返納して 1 年間に限るので、すぐに申請してもらうことが望ましい。

委 員 公安委員会の都合で更新できなかった場合はどうか。
事務局 免許証の自主返納を行った際に運転経歴証明書が発行されるので、それをもっ
ている人が対象となる。

委 員 そのような説明が最初にあったほうがよかった。免許証の自主返納をした人の
リスト等はあるのか。

事務局 申請方式をとるので、リストはない。免許センターと連携を図り、周知をして
いく形となる。

委 員 九州のある県では包括と警察とが連携して、高齢者の運転の課題について対応
していると聞く。そのあたりはどうか。

事務局 法改正により、今後、免許証の更新ができない方が多く出てくると思われる。
そのあたりも、免許センター等と情報共有を図り、対応していきたい。

（２）平成 29 年度事業方針について

（資料に基づき事務局から説明）

委 員 認知症の対応がいろいろとあげられているが、認知症の方の把握はどの程度お
こなっているのか。

事務局 包括に寄せられる相談の中で認知症に関する困りごとを拾い出して対応してい
く。地域の中では明らかになりにくいのが、守秘義務を持ちながら病院と連携し、
対応していく。

委 員 民生委員としても情報がないと活動が行いにくい。認知症の方っていうのは長
い関わりのなかでようやくわかってくる。そのへんの情報を共有できればあり
がたい。

事務局 まずは、家族等の民生委員等地域の方への協力を求めることへの了承を得てか
らにはなると思う。

委 員 まあそうなるだろう。地域性をみて話してもらったらよい。

委 員 認知症初期集中支援チームは何チームできるのか。

事務局 1 チームのみ。三原医師と包括とで複数のケースを対応していく。実際に訪問を
行うのはチーム員の医療職、福祉職がタッグを組みおこなっていく。

委 員 みはらクリニックはどこにあるか。

事務局 田後にある。

（３）認知症初期集中支援チーム検討委員会の設置について

事務局　この運営協議会の中で認知症初期集中支援チームの活動状況について報告させていただき、検討委員会とさせてほしい。別で検討委員会を立ち上げたとしても委員はこの協議会のメンバーと重なる人が多く、別日で再度集まっていただくことになってしまうので、協議会の中で議題をあげさせていただいて、兼ねる形をとっていきたい。

委　員　　私たちはそれでよいのではないか。

委　員　　１本でいきましょう。

（４）その他

特になし。

４　閉会

副会長　先ほど、平成２９年度の活動方針案が出ていたところではあるが、２８年度にできなかったことも含めて、来年度でやって頂きたい。みなさまも積極的な意見交換、ありがとうございました。